

# 音楽学部創設60周年を契機に

# 真声会の「将来への道」を探る

真声会会長 大村 益雄(1期・作曲)

3年前に芸大創立130周年を祝い、昨年は音楽学部創設60周年を迎えました。多くの記念事業に参加させて頂き、大学にとっても、卒業生にとっても、また、社会に対しても、大学の歴史とその存在を広く示すことができ、これらの記念事業は大きな成果があったと思います。これらの時期と呼応して、真声会は会則を改正し、在学中の学生を真声会の会員として迎え入れ、「音楽活動団体」としての「真声会」全体の拡大充実を図ってきました。学生は、京都芸大音楽学部へ入学した時点から、真声会会員であり、途中で、例えば外国などへ留学して、京都芸大を卒業しなくても、真声会会員として登録されます。学部創設当時まで遡るわけには参りませんが、今後は、音楽学部に入学した全ての会員の名前や活動記録などを、真声会の名簿に残していくことになります。

昨年度は、「2012年度 真声会名簿」を発行しました。学生会員の名前を掲載すると共に、卒業生会員、本人からの訂正内容を付加し、各期年度委員の全面的な協力を得て、会員の氏名、住所、活動状況などを再調査し、修正加筆しました。更に、名簿の、取り扱い機能を充実させるため、現在の姓名、大学時代の専修専攻分野からの索引に加えて、結婚前の旧姓からも索引ができるようになり、会員情報として大幅な改善ができました。担当して頂いた編集委員を始め、本部役員、支部役員、年度役員、全ての方々の協力によるものであり、深く感謝を致しております。会員相互の情報を得たり、連絡を取り合ったりするために、この名簿は、今後、大きく役立つと思います。

今日まで、真声会の組織運営は着実に進展して参りましたが、今後の発展を考えると、真声会は次の3つの方向で、それぞれの活動を進めて行く必要があると思います。

- 1) 真声会内部の運営を、組織的な分担に基づき合理化し、協力体制を更に固めること。
- 2) 大学法人化された京都芸大との協力関係を今まで 以上に深めて、大学の社会的ポジションを更に高 めること。
- 3) 卒業生会員が中心となって様々な音楽組織と協力し、それらを支えて、楽壇を更に活性化すること。

そのために、真声会は、内部組織運営部門と、社会 貢献活動部門(社会事業的運営)とに分けて推進して いく必要があります。即ち、内部組織の担当者と外部 組織の担当者とに、責任体制を分担して、役員構成を する必要があると思われます。

上記のような考えで活動することにより、真声会の 日常運営がスムーズに動くようになり、そして、母校 芸大との協力関係が更に深まるようになると思いま す。更に推し進めて社会に向けた情報発信を行い、社 会的な音楽活動を普遍化し、社会事業として大きく貢 献できるような活動にまで発展をさせて行くことが必 要だと考えます。

真声会会員が独立した芸術家として活躍することは 大切です。しかし、それだけが目的ではないと思いま す。人のために役立つ、社会のために役立つ、という 観点から活躍することも、とても大切なことなのです。

真声会内部組織としての活動。それに加えて、大学の教員、事務局、在学生、卒業生の活動。既に会員仲間からも提案を頂いておりますが、社会の音楽関連組織、例えば、京響、音楽家クラブ、音楽関係財団、音楽プロモーション組織、音楽教育組織、など、京芸の卒業生が関わっている、或いは、関わってきた多くの音楽関連組織と、広く協力関係を深めて、真声会オーケストラなどの社会事業にまで音楽活動を広げることをビジョンとして持ち、文化庁などの資金援助をも念頭に入れて、活動を進めていくことを目指したいと考えています。そして、この活動の中には、社会的音楽教育活動も含まれます。

残念なことですが、クラシック音楽の分野では、健全な聴衆が十分に育っていないという社会構造のアンバランスがあります。日本は文明の近代化のために、明治以来、西洋の文化や産業が輸入され、それに伴って西洋の音楽も導入されました。西洋音楽を、大きく、クラシック音楽とポピュラー音楽に分けた場合、クラシック音楽の聴衆が、まだ育っていないというのが現状です。クラシック音楽は、過去、「レッスン・ビジネス」と「コンクール・システム」が、その発展を支えてきましたが、社会の進展と共に、この相互依存のメカニズムが崩れてきています。今こそ、クラシック

音楽の聴衆を育てて、聴衆に支えられた音楽活動が主力になるよう、草の根運動を起こさなくてはなりません。

神戸では、阪神淡路大震災の後、文化が住民の心を 支えるという理念のもとに、兵庫県立芸術文化セン ターが設立され、それらが中心となって、聴衆の掘り 起こしが行われ、現在では、1週間連続のオペラ公演 が成立するなど、聴衆集客の組織化が進んでいます。 それに比べて、クラシック音楽の聴衆育成の面では、 京都は、かなり遅れています。真声会が関連組織と協 力し、社会活動の一つとして、この問題にも取り組む 必要があります。

音楽学部創設60周年は、生み出していただいた 方々や、その後、育てていただいた方々に感謝し、そ の意思を継いで、現状を認識評価し、将来への発展に 結びつけていく、大切な節目でもあります。今年の3 月に、京都芸大学舎の、京都駅東側への移転構想が発 表されました。その実現には、5年から10年、必要 といわれています。しかし、5年、10年の歳月は直 ぐに経ちます。今から、真声会活動の将来構想を皆で 話し合い、京都だけではなく、日本全国に、そして世 界に広がるように、その実現に、一歩ずつ歩んで行く べき時期に来ていると思います。

# 60周年記念の年を振り返って

2012年の早春、私は「今年は音楽学部発足 60 周年だ」という事実に愕然としました。というのは、それまでのほぼ 3 年間ほど、はじめは情報管理主事として、その後は音楽学部長として京都芸大法人化の準備に忙殺されてきたこともあり、「60 周年」のことを頭ではわかっていたのですが、心では受け止めることが出来ずにいたのです。

しかし、ようやく法人化して新しい年度に入り、そこで初めて「さあ、法人化した京都芸大はどう変わったのですか?」との内外からの問いかけにさらされている中でちょうど 60 周年の記念の年を迎えたのだという重大な事実に向き合うことが出来た(というよりは強引に向き合わされた・・・)のでした。

私はあせりました。「どうしたらいいのでしょうか?」と天を仰いだのを思い起こします。しかし、しばし心を静めて考えているうちに、「まずは 60 年の歴史に感謝しよう」と思いました。

京都市立芸術大学 音楽学部長 山本毅 (24 期・打)

すると、この60年間音楽学学部の発足以来今日まで、先人たちのどれほどのご苦労があったことだろうかとの感謝と感動が心にわきあがってくるのを感じました。そして、この年度は何か大きな記念行事を打つことはあまり考えず、過去を振り返り、今を確認し、未来への道を模索する一年になればいいなと感じ、心に安らぎを得たのでした。

そのとき思ったのですが、60周年というのは特別な記念のときだなと感じました。というのは、60年前の第一期生と今の学生たちが同じ時と場所を共有できるというのはそうざらにある機会ではないからです。12月2日に開催した60周年記念式典と真声会主催の記念レセプションでは18歳の学生から大村真声会会長をはじめ第一期卒業生の方々が一同に会することが出来ました。60年の歴史を文書によってではなく、人と人の交流によって分かち合う機会を得たのでした。

また、京芸の今を確認するチャンスも次々に与えられました。

前述した記念式典での記念演奏もそのひとつですが、そればかりではなく、数年前から東京藝大との交流が深まり始めていましたが、この年初めてオーケストラの交流演奏会が実現したのです。また、おりしも真声会員でもある上野洋子講師の古巣ウィーン国立歌劇場の来日があり、上野講師の呼びかけにこたえて歴戦のつわものたる合唱団員さんたちが京都まで足を運んでワークショップの機会を持ってくださることになりました。また、かねてからの懸案であった国際交流の充実に突然予算がつくことになり、イギリスと韓国からすばらしいお客様を迎えて国際交流演奏会を開催しましたし、卒業生、市民の皆様、教員、学生がともにステージに上った60周年記念定期演奏会と、京芸の今を確認し世に問う絶好の機会が次々とあたかも備えられていたかのごとく実現したのでした。

また、今を確認することはそのまま未来を志向することにつながりました。これらの一連の記念行事を通じて、学生たちも教職員もそれぞれ今後目指すべき道を自然に考え始めることが出来たと思います。今何があって何が足りないのか、今何が出来て何が出来ないのかをいやおうなく考えさせられるよい機会となりました。

本当にすばらしいわくわくするような一年だったと思います。

しかし、このすばらしい一年の実現には、本当に多くのかたがたのご協力がありました。資金ひとつをとっても、京都市の予算ではまったく足りない中、真声会の皆様、名誉教授・退職教員の皆様をはじめとして多くの個人・法人の方々からご援助をいただきまし

た。本当に感謝でいっぱいです。心からお礼を申し上 げたいと思います。

今後もどうか京芸音楽学部へのご協力をよろしくお 願いいたします。

さて、ではこれから京芸音楽学部はどこを目指せば いいのでしょうか?

その答えは学生たちも教職員もそれぞれ思いが色々 あることでしょう。人それぞれでまったくかまわない と思うのです。しかし、一人ひとりが思い思いにそれ ぞれの道を追求するとき、そこには人の思惑を超えた ひとつの大きな流れが発生します。それは誰かが強引 にリーダーシップを取って作り出す流れをはるかに超 える強力なエネルギーをもっています。そのように生 まれる自然なその流れは、おそらく今までの60年の 方向性とそれほど違うものとはならないのではと私は 考えています。今まで地道に成し遂げられてきたこと をさらに地道に追い求めることではないでしょうか。 地道に音楽芸術の真髄を追求し、知りえたこと、獲得 し得たものを地道に世に対して発信し提供し続けるこ と。音楽のすばらしさをとことん追求し、とことん伝 え続けることが、我々の変わることのない使命であり、 同時に喜びであると思います。時流を追うのでもなく、 時流に乗るのでもなく、音楽芸術の真理をひたすら探 究し啓蒙し続ける。それが出来るのが京芸音楽学部で あり、それを期待されているのが京芸音楽学部だと私 は信じます。

感謝とともに重ねてお願いいたします。どうかこれ からもご協力をよろしくお願いいたします。

# これまでの60年とこれからの60年

砂原悟(ピアノ科・准教授)

音楽学部の60年の歴史は、長いようで短いと言えるかも知れません。東京藝大が音楽取調掛としてスタートしたのが130年以上前で、本学の美術学部も同じ頃スタートしています。そういうスパンで見ると短いようですが、それでもこの60年は大きな意味をもつ60年でした。京都も東京も芸術大学として本格稼働するのは戦後ですから約60年。まさに日本の近代化とともに歩んできた60年です。

特に音楽界について言えば、この60年で日本の音楽レベルが世界のレベルまで引き上げられたといって過言はないでしょう。これまで京芸を築いてこられた

先人たちも、常に日本の音楽教育の中核におられ、レベルアップに大きく貢献しました。現在の教員である私たちは、そういう先人たちに直接、教えを受けたり、影響を受けています。彼ら彼女らの息吹を肌で知る私たちこそ、その精神と情熱を後輩たちに伝えていかなくてはならないと、この節目を迎えてあらためて感じます。

いっぽう現代に目を移すと、この間の時勢の変化は 著しく、特にグローバル社会として意識されるように なった近年では、企業の平均寿命が7年とも5年とも 言われる超スピーディーな激動の時代です。性急に結 果を出すことにあくせくせず、地道な努力を重ねなく (4)第56号 真声会会報(3500部発行) 2013年6月5日発行(5)

てはならない私たちの世界にとって、この時勢の激流 は脅威であり、ときに飲み込まれそうになります。

そんな現代だからこそ、京都が強いのではないでしょうか。私は着任して3年目で、まだ京都について何かを強く語ることはできませんが、「京都には独特の空気がある」という認識は(関西だけの話でなく)全国的なものだと思います。あるとき美術の先生がおっしゃいました「京都には古いも新しいもない」。なんと素晴しい言葉! 歴史の延長上に私たちがいることが当然というわけです。京都人にとって、この前の戦争といえば応仁の乱であるという笑い話は有名ですが、実際にこういう悠然とした空気感は至るところで感じることができます。そもそも芸術がなぜ必要か、などという議論そのものが必要ないような環境がここにはあるように思います。

そういう空気の恩恵かどうかわかりませんが、京芸の学生たちはバランス感覚に優れた人が多いように感じます。のびのびとしているようで、一線をわきまえている。屈託ないようで、とても神経を使っている。彼らは、年間に30回を超える演奏会(大学主催だけで!)を一見飄々としてこなしていますが、これも陰でのたいへんな努力なくしてできないものです。

この60周年事業においても、教員と学生、そして 事務局が一体となって取り組み、式典をはじめ多くの 演奏会、ワークショップなどのイベントによって、京 芸の実力が発揮されました。これからの60年は、こ れまでより厳しい茨の道が待っているかも知れません が、一丸となって芸術の道を切り拓いていきたいと思 います。

# 60周年記念レセプション大成功!

担当 真声会副会長 松本真理子(15期·打楽器)

12月2日。記念式典終了後、全日空ホテルで開催された記念レセプションは、おかげ様で大盛会の内に 無事終了致しました。朱雀の間は120名の参加者でビッシリ。祝賀演奏のトロンボーン四重奏の演奏で開宴。 大村会長、建畠学長様のご挨拶、ご来賓紹介、目録贈呈と進み、美術学部同窓会会長 上村淳之様の乾杯

大村会長、建畠学長様のご挨拶、ご来賓紹介、目録贈呈と進み、美術学部同窓会会長 上村淳之様の乾杯で歓談タイムに入り和やかなムードとなりました。佐藤敏子(17期・声楽)さんのソプラノミニコンサートで盛り上げて頂き、いよいよ、ぶっつけリレートーク。ムチャ振りの私の司会に、楽しく本音でお話し下さった28名の方々。宴はピークとなりました。西村孝子(20期・ピアノ)さんの名司会のおかげで、無事予定通り終了致しました。

お見送りの際に「楽しかったよ」「来て良かった」と多くの方が、お声をかけて下さいました。京芸 60 年の伝統と温かさ、そして強い絆を感じたうれしい日となりました。





# 音楽学部60周年記念事業へのご寄付をありがとうございました!

音楽学部創設 60 周年記念寄付金について 総額 1,593,000 円が寄せられました。ここに掲載のお名前は、第2回目(前号、2012. 11.10 発行の会報第55号に続く)です。寄付金総額の中より 2012年12月9日に開催された「60 周年記念」第142回定期演奏会のホール会場費用に対して真声会より1,070,660円を充当し、その他の60周年の催物と印刷物に、残額を使わせて頂きました。会員の皆様のご協力に感謝いたします。

(寄付者一覧・敬称略)							
1期	新井省吾	6期	鈴木和子	11 期 豊住征子	21 期 塚田真知子	31 期 三村由美子	51期 高野良輔
1期	大村益雄	6期	村田喜久子	11期 小林浩子	21 期 横山育美	31期 西薗真理	52期 安藤るり
1期	関口淑江	6期	田村直子	11 期 児玉祐子	21 期 堀裕子	31 期 増喜美紀	52期 森由紀子
2期	嵯峨根和子	6期	黒河英子	12期 朴実	22 期 中島貴子	31 期 村上栄子	52期 木田佳余
2期	植月一恵	6期	北波裕子	12 期 関口美奈子	22 期 木谷庄子	32 期 橋本幸代	52 期 宮崎真理子
3期	藤原三千代	6期	大野清子	12期 勝丸紗千子	22期 金丸文子	32 期 神谷映子	53期 塩田藍
3期	寺本正代	6期	改田麻紗子	12期 片岡祥子	22 期 井上まゆみ	32 期 中村典子	53 期 長坂志野
3期	片山恭子	6期	土屋榮	13 期 藤井高子	22 期 尾崎千賀子	33 期 高畑園子	53期 若井亜妃子
3期	中澤眞代	7期	栗原紀世子	13 期 大須賀留美子	23 期 井上久美子	33 期 北村千絵	53 期 楊雪元
3期	越賀和子	7期	戸祭喜久子	13 期 南部久仁子	23 期 中村力也	33 期 石沢ジュン	54期 和田久美子
3期	中原光恵	7期	檜垣信昌	15期 横内園子	24 期 新実悦子	34期 柳谷美景	54 期 溝渕悠理
4期	澤田覺二	7期	尾上玲子	15 期 松本真理子	25 期 雪原典子	35 期 尾崎未佳	54期 海塚威生
4期	並河恭子	8期	田中美鈴	16期 井上和子	25 期 竹中水枝	35 期 尾﨑平	54期 丁子充
4期	堀眞佐子	8期	ヒールシャー南保惠子	17期 皆山益子	26 期 上塚憲一	35 期 福永圭子	54 期 匿名
4期	小林和子	8期	吉田温子	17期 山本千壽	27期 曽我尚江	35期 加藤千恵子	56 期 川北英里子
4期	西田千鶴	8期	戸田智子	18期 佐野美友子	27 期 野瀬規子	37 期 武貞明子	56 期 永井友梨佳
4期	中島滋子	9期	清水恵美子	18期 天野真由美	27 期 樋口博行	39 期 中島恵理	56 期 上品綾香
4期	西田勝子	9期	奥道子	18期 西谷真理子	28 期 玉井幸子	39 期 桑山由美子	56 期 荒巻幸絵
5期	小川隆宏	10期	佐々木研	18期 村田育子	28 期 山田栄里子	41 期 稲葉万姫	57 期 長友美穂
5期	小川京子	10期	江口洋子	18期 藤原ひろ子	29 期 橋本利嗣	43 期 藤美千代	57期 福盛貴恵
5期	椿久美子	10期	高田悦子	19 期 水越典子	29期 奥田千春	43 期 上野マッティラ順代	
5期	竹内恵子	10期	平田潤	19 期 和泉正憲	29 期 則内晶子	45 期 松尾卓郎	
5期	山本家寛	10期	山田晏子	20 期 内藤泰子	30期 黒田博	45 期 浦史子	
5期	寺岡利雄	10期	吉川奎子	20 期 後藤良子	30期 寒川正晴	45 期 定金麻衣子	
6期	藤田恭子	11期	上砂文子	20 期 井出悟	30期 文野真理	51期 平野佳恵	

# ・ 京都市立芸大、JR 京都駅東側へ移転 ・

編集委員長 朴 実(12期・作曲)

新聞報道などによると(3月27日京都新聞、3月29日各紙京都版)3月28日、京都市立芸術大学は京都市に対し、JR京都駅東約700メートルに立地する元・崇仁小学校を中心とする約4万平方メートルの地域に全面移転する要望書を提出しました。市の計画では元・崇仁小学校と、周辺の市営住宅跡地などを活用する予定ですが、まだ約1万㎡が不足すると言われています。

周辺地域では、崇仁学区の南に隣接する南区東九条山王学区も、人口減により昨年度より山王小学校(新幹線八条口より約3分)が廃校となり、崇仁小学校から約300メートル南の市営住宅と周辺も(約1万㎡)整備が進んでいます。

4月から崇仁学区の住民説明会も行われ、現在のところ地元住民も歓迎の意向で、協力体制を整えています。計画は5年~10年規模ですが、実現すると、これまで問題となっていた校舎の老朽化とアクセス問題が一挙に解決され、JR京都駅や京都市営地下鉄京都駅、また京阪七条駅から徒歩5~10分以内の所に大学ホールが完成し、学内演奏会が実現することになります。

今後、旧住居移転などの難問がありますが、スムーズな 早期移転が実現されるよう、私も一市民・卒業生として協 力していきたいと思っています。



# 真声会総会・懇親会を開催

2013年度(平成25年度)真声会総会及び懇親会を、来たる7月7日(日)に、下記のとおり 開催いたします。この日は京都芸大の定期演奏会当日で(17ページの「京芸だより」を参照)、 演奏会終了後、下記の会場を予定しています。この機会に皆様多数ご出席いただき、真声会の発展 と交流を深める場となりますよう、ご案内申し上げます。

日時 2013年7月7日(日)

> 総会 17:00~ (16:30より受付)

懇親会 18:30~ 20:30頃まで

会 場 京都コンサートホール 1階レストラン「ラ・ミューズ」

会 費 3,000円

議案 1.2011年度・2012年度 事業報告

2.2012年度 会計報告と監査報告

3.2013年度 事業計画と予算案について

4. その他

討議 真声会の社会貢献活動について(過去、現在、将来、など、自由討議)

- ○同封のハガキにて、出欠を6月30日必着でお知らせください。 (6月30日以降は投函しないでください)
- ○総会についてのお問い合わせは運営委員長 佐々木研(10期・打楽器)まで。



# あしあと



昨年10月以降以下の会議を行ってまいりました。

2012年10月24日(水)18:00~21:00 北文化会館第1会議室 第 12 回拡大運営委員会

出席者:大村、大西、松本、佐々木、朴、小川、杉 中、樋上、佐藤、青谷、中村典(以下敬称略)

- 議題: ●創立 60 周年の記念事業について
  - 2次回会報の内容について
  - ❸新名簿の作成への取り組みについて

11月14日 (水) 18:00~21:00 ザ・パレスサイドホテル 第 13 回拡大運営委員会 出席者:大村、大西、松本、佐々木、金森、杉中、 山本、伊吹、佐藤、青谷、中村典

オブザーバー参加: 山本毅音楽学部長 議題: ●音楽学部60周年の記念事業関係について

12月7日(金)18:00~21:00 ザ・パレスサイドホテル 第 14 回拡大運営委員会 出席者:大村、松本、佐々木、朴、金森、杉中、山 本、土居、佐藤、青谷、中村典

議題: ●音楽学部60周年記念事業関係

②新名簿作成について

2013年1月30日(水) 18:00~21:00 ザ・パレスサイドホテル 第 15 回拡大運営委員会 出席者:大村、大西、松本、佐々木、朴、金森、三 井、山本、伊吹、佐藤、青谷、奥田、中村公、佐渡、 中村曲

- 議題: ●記念レセプションの会計及び寄付金等のまとめ
  - ❷新名簿の作成について
  - ❸新年度の総会について

3月1日(金)18:00~21:00 ザ・パレスサイドホテル 第 16 回拡大運営委員会 出席者:大村、大西、松本、佐々木、朴、山本、佐藤、 奥田、中村公、中村典

議題: ●新名簿の発行に向けて

- ②新しい会員証の発行について
- **③**今後の真声会の活動について

4月16日(金)18:00~21:00 ザ・パレスサイドホテル 第 17 回拡大運営委員会 出席者:大村、大西、佐々木、朴、佐藤、奥田、 中村公、中村典

- 議題: ●青谷哲也運営委員の近況について
  - ❷新名簿と新会員証の発行に関連して
  - 3 2012 年度の会計報告について
  - **④**会報 56 号の内容について
  - 6 今後の真声会の活動について

# ※ 平成24年度、卒業式に参列して※

真声会会長 大村 益雄(1期・作曲)

3月25日(月)晴天。学部卒業生は、美術125名、音楽59名、美術と音楽との人数比は約2対1。大学院 修了者を合わせると、約200名。カラフルな着物姿に加えて、奇抜な変装も見受けられ、最近では、一般大学の 卒業式でも着物姿が多いが、意表を突く衣装や大袈裟な被りものが見られるのは、さすが芸術大学の卒業式である。

「卒業生、修了者は、名前を呼ばれたら、はっきりと返事をして、起立して下さい。」との呼びかけに、返事の仕 方が、また、とても面白い。

はい、は一い、や一、いぇ、など、皆、答える。音の高さはいろいろ。その返事の仕方に、いくつかの外国語が 混じっている。中には、自分の名前を呼ばれて「い・い・え」とはっきりと答える卒業生がいた。どこの国の言葉 かは知らないけれども、「い・い・え」が日本語だとしたら、「私はその名前ではありません」という意味。しかし、 はっきりと返事をしているので、要求には応えていて、ユーモラスである。

建畠哲学長と門川大作市長からは、社会に出てからの精神活動を励ます餞の言葉があり、卒業生、修了者からは、 それぞれのグループを代表して、答辞が述べられた。答辞を述べる最終段階、式はまだ終わっていない、その壇上で、 客席に向かってイタリア旋律の日本語の歌をゼスチャーよろしく朗々と歌いだし、同僚卒業生が、それに呼応して 歌のアンサンブルが行なわれた。歌詞は笑いを呼ぶものであったが、見事な、ミニオペラ音楽卒業式である。予想 を超えた型破りの式典である。このような卒業式に、微笑みをこそ感じ、違和感を覚えない私自身が不思議であっ た。むしろ、さすが、日本に誇る、世界に誇る、京都市立芸術大学の卒業式だな、と感じた次第である。

\*\*\*\*\*

同日、午後、京都市中心部のブライトン・ホテルで開かれた「卒業パーティー」に、松本真理子(15期・打楽 器)副会長と、私、大村が出席し、お祝いの挨拶をさせて頂いた。真声会役員がこのパーティーに出席するのは初 めてである。

卒業式の後に、新しい真声会名簿を届けたこと、それらの情報をもとに卒業後の相互の活動を促進して欲しいこ と、真声会会費納入についてのお願い、などを話しながら、壇上から見ていて、皆の顔の明るさと、衣装の美しさ に驚いた。豪華なホテルの雰囲気に見事に適応している。仮装はなかったけれども、着物や衣装のセンスがよい。 私は京都生まれなので、家のおばあちゃんが、若い娘さんの美しい着物を見て「綺麗なおべべ、着てはりますなあ」 と褒めていたのを思い出した。着物を意味する「ベベ」は、もう死語ではあるが、昔の京都ではよく使われた言葉 である。その日も、華やかで、綺麗な「べべ」を着た、とても美しい卒業生が多かった。男性の衣装も垢抜けして いる。美術の学生より、音楽の学生の方が、随分オシャレではないか。と、ふっ、と思ったことである。

パーティーの中では、ビンゴゲームあり、歌あり、連弾あり、教員のパフォーマンスあり、食事も立派で、多士 済々、優れた人材が多いことに誇りを感じた。多芸多才で人を楽しませる。社会への船出にふさわしい、心にゆと りのある楽しい卒業パーティーであった。この会をマネージされた方に、心からの敬意と感謝の意を表したいと思 う。

#### \*\*\*\*\*

昨年末の、60周年記念式典で講演された、作曲家、音楽教育者の、エリック・コロンさんが言っておられたよ うに、クラシック音楽の将来には、自ら切り開いていくべき課題が多い、のである。しかし、京芸のこのような卒 業式や、卒業パーティーを見ていると、心が和み、将来が楽しみである、と、つくづく感じた次第である。





(8)第56号 真声会会報(3500部発行) 真声会会報(3500部発行) 2013年6月5日発行 (9)

# ※ 平成25年度、入学式に参列して※

真声会副会長 大西多惠子(10期・声楽)

4月10日(水)の入学式に参列させていただきました。音楽学部生63名、大学院生25名、博士課程1名と、 美術学部との新入生を迎えて、ほどよい緊張感の中で品格のある式典でした。京都市長は、京都市立大学はもう1 校の市立看護大学がこの3月で終了して、現在唯一の市立大学になったことと、市民の税金を使って芸術の都への 夢と道を高めたい、市民の皆さまの期待に応えて益々発展してほしい、と述べられました。建畠学長は、この時代 芸術が社会とどのように関わっていけるかと話され、私自身考えを深くする必要を感じました。新入生は、芸術家 の仲間入りを許された喜びと感動と決意を述べられていました。新入生の皆さまは、もう真声会の新しい希望の星 なのです。私達卒業生と共に、誇りを持って、進んで行きましょう。





# 新入生のみな様、京芸ご入学おめでとう!

編集委員長 朴 実(12期・作曲)

新入生のみな様、京芸音楽学部ご入学おめでとうございます。また真声会ご入会もおめでとうございます。 私が京都芸大音楽学部の前身である京都市立音楽短期大学に入学したのはちょうど 50 年前の 4 月です。 本科は1学年40名、専攻科は10名、全校合わせても100名というとてもこじんまりした家庭的な大学で した。当時の校舎は岡崎の旧武徳殿内にあり、5月の連休の頃になると「全国武道大会」が開催され、その ため休学になりました。また東隣は平安神宮で、昼になると金網の穴から平安神宮の庭園(有料)に入り、 弁当を食べたものでした。当時の学長は堀場信吉先生(堀場製作所・堀場雅夫名誉会長のご尊父)というと ても高名な科学者で、孫を見るような眼差しで、静かに語りかけるように祝辞を賜ったのですが、どうして も内容は思い出せません。私は高校時代全く音楽に関係がなく、昼工場で働き、夜は定時制高校の電気科 に通っていたので、授業や実技のレッスンになかなかついて行けず必死で、短期大学の2年間はあっとい う間に過ぎてしまいました。その後さらに2年間専攻科に進みましたが、その時に京都市議会から「廃校」 問題が起こり、私たちも存続を訴えて署名活動などをしたことが昨日のことのように想い出されます。

私が新入生の方達に是非お勧めするのは、自分の専攻以外の方たちや美術学部の方達と積極的に交流し、 そこから多くのことを学び取って欲しいと思います。また単位互換性などを利用して他大学の学生とも交流 することを勧めます。機会があれば他の国の学生達とも交流して下さい。現代は国家だけでなく、芸術や学 問の世界に於いてもグローバル化がどんどん進んでいる時代です。

私の部屋には学生時代と卒業間もなく買い集めた、専門書、スコア、ピアノの楽譜、LP レコード等が積 み重ねられています。いつか読もう、いつか弾いてみよう、いつか聴こうと・・・そう思っている内にあっ という間に十数年の月日が経ってしまいました。「少年老い易く、学成り難し!」と思う今日この頃です。 私のような轍を踏まないようにしてください。本当にご入学おめでとうございます。

# 真声会「会費納入キャンペーン」実施中

真声会は、会員の皆様のご協力により、年2回の会報発行、名簿・会員証の発行、同窓会室の運営、各支部 への援助金など、活動を進めてまいりました。これらすべての事業運営活動を維持していくためには、会員 の皆様の会費納入が唯一の資金となっております。

すでに会費を納めていただいている会員の皆様には、厚くお礼を申し上げますとともに、お知り合いに会費 未納の方がいらっしゃいましたら、お声かけをよろしくお願いいたします。会費未納の会員の皆様は、是非 この機会に会費を納入していただきますよう、お願い申し上げます。

会費は、郵便振替にて終身会費50,000円、銀行引き落としにて年会費3,000円となっております。

- · 郵便振替口座 01070-4-16071 真声会
  - 青色の払込取扱票にて、最寄りの郵便局で納入ください。
- ・銀行引き落とし 年会費を毎年9月に引き落としさせていただきます。

南都銀行の口座振替依頼書に銀行口座(基本的にどの銀行でもよい)等を記入いただき、お手続きく ださい。用紙は同窓会事務室にありますので、いつでもお問い合わせください。

なお、会費納入状況につきましては、発送封筒の宛名の下に記載されております。ご不明な点は、同窓会事 務室までお問い合わせください。(未納の方には会費納入用の郵便払込用紙を同封しております。)

皆様からの会費をより有効に活用していけるよう、本部役員一同、一層の努力をしてまいりますので、皆様 のご理解とご協力をお願い申し上げます。

真声会本部役員一同



# **新名簿・新会員証が発行されました**



真声会名簿 2012 年度版が発行されました。また、真声会会員証(有効期間 2013 年 4 月 1 日~ 2017 年 4 月30日)も同時に発行されました。

新名簿は、各卒業生の年度委員各位のご協力を得て、修正・加筆した最新版です。会員相互のコミュニケーショ ンをよりよく図るため、ご利用いただき、会員の活動が広がればと願っております。

また、新会員証は、京都市立芸術大学音楽学部主催の演奏会では優待入場ができ、下記の楽器店で割引を受け ることができるものです。

①カワイ直営店(全国)

楽譜及びファンシー商品(鉛筆等) 10%割引(書籍を除く)

- ②ヤマハミュージック大阪(心斎橋店、神戸店、千里店、堺店)
  - 楽譜、ピアノ、管楽器等10%割引(割引がポイント制に変わりました)
- ③ JEUGIA 全店

楽譜·書籍 10% 割引、CD·DVD5%割引

④旭堂楽器店(京都市中京区寺町通夷川上ル TEL:075-231-0538 FAX:075-231-3440) 楽譜、小物など 10% 割引

新名簿及び、新会員証は、会費納入者のみに配布されております。これまでの会報でもお知らせしてまいりま したが、少なくとも最近2年分の会費を納入していただく必要がありますので、まだお持ちでない方はお早め にお手続きいただきますよう、お願いいたします。会費の納入が確認でき次第、順次お手元にお送りいたします。

# 《会員だより》

今号の会員だよりには 12 名の会員の方より寄稿いただきました。 この場をお借りして御礼申し上げます。

### 6期ヴァイオリン 田村 直子

思い起こしますと、私が時々教会でヴァイオリンを弾いていたのを聞いておられて、その頃オルガニストを務めておられた1期の川口冨士子さんから「音楽コースを受けてみませんか?」と勧められ、即席でソルフェージュ、副科ピアノを仕込んで戴き、音楽への道が始まりました。

その後、丁度、出雲路から岡崎へ校舎が移転した頃、これまでの京都市立音楽短期大学はもう、廃校にすべきだという行政の動きがありましたが、在校生、私達卒業生が一丸となって、当時の高山義三市長に陳情に行き、4年昇格にこぎつけたいきさつがあります。高山市長が音楽に対し

て深い理解をお持ちであったことにとても感謝致しております

35年間の教職リタイア後、教会でのオルガン奉仕、友人とのアンサンブル、コール真声会への参加が今の私の支えです。コール真声会は固い絆で結ばれています。お互いに美しい音を追求し合う事、良い姿勢を保てるように励む事、自分の考えを忌憚なく述べ合う事、労り合う事が、18期以前のメンバーだけに徹底していて、他には無い貴重なグループだと思っております。これからもより高い音楽性を目指して!

# 6期声楽 白石 由紀子

私が京芸を卒業してから、既に 50 年以上が過ぎました。 当時は短大で、岡崎のキャンパスは平安神宮の有料庭園に 隣接していました。今だからいえるのですが、金網のフェ ンスをよじ登り、有料庭園に入り込み、遊んだことが何度 かありました。また京大や同大のグリークラブの方達が、 男声の応援として一緒に歌っていただいた事も何度かあ り、初代京響指揮者のカール・チェリウス先生からは、大 変実りのある教えを受けました。卒業後、演奏活動を続け ていましたが、結婚、子育ての後、30 余年前、音楽療法 に関心を持ち、アメリカでの3回の研修や、日本の大学で の心理学(主に精神分析学)の勉強の後、5ヶ所の病院や 老健施設で、約160名の認知症の高齢者を対象に、音楽 療法を始めました。爾来15年になります。そこで驚いた ことは、認知症という記憶や判断力、言語能力、認知機能 が衰える一方の方達が昔覚えた歌は大変良く覚えてられる

#### 12期ピアノ 伊吹 元子

専攻科を修了したちょうどその時、ある合唱団の伴奏を 気軽な気持でお引受けしたのが縁で、何ともう 45 年近く この分野で活動させてもらう事になっています。どちらか というと「合唱の伴奏なんて・・・」と思っていた私に、次々 と渡される主に邦人作曲家による合唱曲のピアノパートは 奥が深く曲作りに重要な位置を示していると思う様になり ました。沢山の作曲家、指揮者に出会う機会に恵まれ、高 校、大学、一般、お母さんなど多くの合唱団と協演する事 が出来ています。なかでも京都産業大学グリークラブとは 全日本合唱コンクールで 12 回もの日本一を若い学生達と 一緒に出来た事は今でも私の宝物になっています。 ということです。つまり、メロディーを聴けば歌えるのです。歌えるのみでなく、その歌を足がかりとして、豊かなコミュニケーションが取れ、心を繋ぐこともできるのです。その上、歌うことで様々な感情が誘発され活き活きとした表情になられます。このことから、年令に関わりなく誰でも心の奥に深く根を降ろした歌や音楽があり、その根はいつまでも枯れることなく、またその曲がどんなものであっても貴賤はなく、その人自身が自分であり続けるための大切な拠りどころなのだということを実感して居ります。音楽は言葉を越えたもので、人間が人間として在るための大切な部分に根ざしているということに気付くことが出来ました。そのルーツが音大時代にあったのだと、今更にして感慨深い思いでおります。

指揮者、合唱、ピアノが三位一体になって一つの音楽を 作る時自分では想像もしなかった音が広がる瞬間、たまら ない世界が見えてきます。沢山の仲間に支えていただき ずっと一つの事を続けてよかったとつくづく思っていま す。伴奏者という「縁の下の力持ち」も、なかなか心地良 いものです。私の座右銘である「学習を怠らず、確たる自 己を持ち、しっかり表現し、その上で他人と合わせ、なお 気を配る」をいつも心に、これからも音楽作りに励みたい と思います。そしてこの分野で若い後輩の人々が次々と頑 張って来て下さっている事を大変うれしく思っています。

## 15期ピアノ 蔵田 由美子

この学校には、本当にお世話になりました。

卒業後しばらくして家庭にはいって以来、自宅で生徒さんをお教えしていて、演奏活動はしていませんが、最近あるきっかけから、若い頃の演奏をオープンリールのテープからCDにダビングしてもらいました。40年ぶりに自分の演奏をきいてがく然、悟りの境地で弾いていたはずのところがそうでもなかったり、間のとりかたがなんとも窮屈だったり、若さムンムンその熱さが気恥ずかしかったり・・・と。また反対に、案外わかって弾いているな、こんなに速く指がまわっていたんだな・・・と思ったり。

## 15期打楽器 山高 良子

初夏が近づいてくると、音大の校庭には色鮮やかなツツ ジが咲いていました。ここから少し離れた所に武徳殿があ り、この中で体育の授業があったことも思い出です。

卒業してから学校で音楽教育に携わってきました。学校 では一年間のさまざまな行事があり、四季の移りかわりが カレンダーのように感じます。 日頃、演奏は生きもの、年とともに生きているんだ、と、いろいろな演奏に接してわかっていたつもりですが、身をもって知って、音楽ってなんと微妙で奥深いものか!と、その面白さをあらためて感じています。

暇をみつけては、好きなCDを聴いていますが、林住期と呼ばれる年代になった今、音楽と、身近に少しの自然があるならば、じゅうぶん満足して暮らしていけるのではないかな、と思っています。



演奏活動も行っています。普段なかなか行く機会がないような所へ出向くことになったり、お陰様で音楽を通して、いろんな人達との出会いがあり、今日に至っています。音楽をやっていて良かったと思うこの頃です。

最後に、京都市立芸術大学音楽学部のご発展をお祈り致 しております。

# 18期ピアノ 早田 彩子

私たちの年度は、短期大学が四年制に移行するときであったが、正式に四年制になる前に入試要項が出された。そのため、入試は四月に入ってからであった。入試会場は、岡崎校舎、ピアノのテストは京都会館第二ホールであった。雨の中傘をさして案内されたものである。試験官の先生方は客席のかなり後方に座ってられた。当日最悪のコンディションだった私には、亡霊のように見えた。それでも運良く合格!当時日本一の先生が大変意気込んで指導してくださり、先ず入学式の日に課題を沢山出された。先生のレッスンは大変熱心で厳しく(体罰、暴言は一切なし)フーフー

言ってついていった。先生のレッスンで印象に残ってることは沢山あるが、その一例を紹介すると、ショパンのソナタ Op35 をレッスンしてもらったとき、音をそろえるだけで難しい第四楽章、そのある部分「ここは霞むように…」と言って弾いてくださった。その一音一音が宝石のように輝き、それでいて PP、何だか神業のような気がした。そんな音を身近で聞くことのできた私たちは大変幸運だったと思っている。その耳に残ってる音は私にとって一生涯の宝となるだろう。

# 18期作曲 安川 温子

真声会会報への原稿書きは丁度 20 年振りです。私が手懸けておりました「大阪支部報(手書き版)」、改めてストックを見直してみましたら「No.49・'93 年 6 月号」で終わっていました。この支部報はもちろん、世話役として活動させて頂いた歳月がとても懐かしく想い出されます。お陰様で今でも人との交流は不思議な程ご縁がつながり、ささやか乍らコンサート作り等愉しく音楽を続ける糧とさせて頂いております。

若い世代の方とのご縁、そしてご活躍に接しても本当に 嬉しく光栄な思いで一杯です。今春大学院作曲専攻を卒業 された帯刀菜美さん(埼玉での中学時代から作曲の通信レッスンをさせて頂いた元お弟子さん)。この度、成績優秀者として大学院市長賞を受賞されたそうです。素晴らしい!2年前の京芸ミュージカル公演「アスカと曲芸師」での作曲・音楽監督としての功績も高く評価されたのでしょう。このミュージカルは外部からも大好評で、今夏8月25日(日)に長岡天神で再演されるそうです(外部依頼による再演は初めてとの事)。

話は逆上りますが--。彼女が京芸作曲の受験を正式に 決められた高2の夏、我が家を初めて訪ねて来られてのご 対面で私瞬時に「この人京芸顔してる!!」とひらめきました(どんな顔?とツっこまれても説明困難ですがともかくインスピレーションです)。そして100%彼女の才能と努力の賜物による現役合格から市長賞を伴う大学院ご卒業に至る、正に"京芸の顔"となられた事に・彼女への称讃と・ご縁への感謝と・インスピレーションが正解だった嬉しさと・・・これらの想いが軽やかに絡み合って心の中でアンサンブルを奏でているような気分になっているところです。

# 27期トランペット 若林 義人

京芸を卒業して31年経ってしまいました。私が入学した時はまだ岡崎学舎で、受験で初めて訪れた時は、門の前を通り過ぎるくらい大学とはかけ離れた佇まいに驚いたことを今でも思い出します。当時の音楽学部は堀音、武徳殿、弓道場と同居という珍しい大学でしたね。下宿は山科で四畳半キッチン無し風呂無し八千円という、極貧?生活でしたが、先輩も居て楽しく過ごしました。そして三回生からは沓掛へ。ピッカピカの大学に狂喜乱舞したものです。

下宿も三回生で桂の六畳アパート風呂無し、四回生で沓掛の学生マンションという風にステップアップしていきました。沓掛の練習環境が良かったのか、四回生の10月に京響に運良く入団。出席が危なかったがなんとか卒業し、25年6ヶ月在籍しました。2007年度からは龍谷大学吹奏楽部音楽監督、相愛大学非常勤、2009年度から京芸非常勤をやっております。

先日、京都駅東(下京区崇仁地域)への移転要望書が京

# 27期打楽器 村上 博美

「打楽器の人達の結束力ってすごいね!」と時々言われることがある。確かに。楽器の種類は多く重量級のものがある。皆で寄って集って準備し、そして片付けなければならない。自然と結束力が生まれるのだろう。だが京芸に関して言えばどうやらそれだけではなさそうである。毎春、学生から新歓のお誘いの電話が掛かってくる。これには短大時代の大先輩も駆けつけて下さるので文字通り「老若男女」の集いとなる。まだある。H氏が「打研まつり」と称する集いをしばしば企画してくれる。これにも飲める、飲めない、飲まないに関わらず大勢が駆けつける。もう何度も聞いた懐かしい話や新しい話題で世代を超えて盛り上がるのである。いやいや、飲んでばかりでは決してない。卒業して今まで、私が何とか打楽器奏者の端くれとしてやってこられたのは多くの先輩方(打楽器に限らず)のお陰で

ある。行く先々でよく面倒を見てもらった。現場で聞く話しは大変為になりありがたかったし一緒に演奏しながら実に多くのことを教わった。年を重ねるにつれ私も若い人達のために何か役に立たねばと思うのだが、近頃は後輩たちに面倒を見てもらうことも増えてきた!そんな私だが、さきらジュニアオーケストラアカデミーというところで講師をさせてもらっている。台の上に乗って Timp. を叩いている小学生が今度はどんな演奏を聞かせてくれるのか?実に

## 33期声楽 福島(中村)貴代

お世話になった皆様、大変ご無沙汰しております。 京芸在学中は「あ~学芸会か~(笑)」と恩師、河本喜 ついでのPRですが。前述のミュージカルご出演者のお一人 Tn. 井上元気さん(現4回生)をゲストに迎えて、私 共恒例のママさんコーラス演奏会が来年実現する運びとなりました。~2月11日(祝)於メイシアター(中)14時〈クッキーコーラス第14回演奏会〉~有望なフレッシュマンさんとの新たな交流は本当に楽しみです☆



都市に提出されました。京芸も昨年度から公立大学法人化され、市から独立して運営をしなければならなりません。学生の演奏の場も私達の頃とは比較にならない程多くなりました。創作、練習の場としては最高だった沓掛キャンパス、しかし、老朽化と利便性については前から言われてきました。今の時代、開かれた大学、人の集まる大学を目指しての移転は急務です。文化芸術都市京都の拠点としての京芸のこれからの発展に期待し応援していきたいと思います。

6月1日に京芸初の吹奏楽演奏会が開かれます。管打合奏の非常勤をやっていることもあり、私が指揮することになりました。サックスは相愛大学からお手伝いをお願いし、ユーフォニアムはトロンボーンの学生が、という感じになりますが、サックス科、ユーフォニアム科の増設?を目指して、アピール出来たら良いな、と思っております。

楽しみな仕事である。 卒業して30年になる私は岡崎と沓掛の両方の学舎を知っている。今度、学舎が街中に移転すると学内コンサートなどに出かけやすくなるかもしれない。少々気が早いようだが、これは是非、老後の楽しみとしよう。

介先生にいわれながら、ミュージカルを一生懸命?やっていました。お陰で美術学部の友人も出来て、現在でも交流

が続いている方もいます。

ちょっとおっかないけど、すっごく温かかった河本先生が、卒業と同時に他界。東京在住の姉弟子にあたる先生に師事することになりました。以来、レッスンの為、京都まで定期的に先生に来て頂いたり、私がその間に東京へ通ったり、約15年の間に京都で2度リサイタルを開催する事が出来ました。

その後すぐ、生まれも育ちも京都の私が、縁あって東京の人と結婚!まさか、東京に住むことに!覚悟はあったものの、当初は東京生まれの主人と姑と義姉と犬との会話や生活習慣もわからない事も多く、ホームシック?というか、淋しい時期もありました。が、音楽ホール等での案内係の仕事に就いて以降、音楽関係以外の友人も出来て色々な話をする中で元気を貰いました。

## 36期声楽 深川 和美

現在「深川和美の童謡サロン」を主宰し、観客参加型のコンサートを全国各地で行っています。

その活動のきっかけになったのが、1995年の阪神淡路大震災。当時、神戸市長田区のマンション9階にいて周囲に火の手があがっているところを友人に助け出されました。エリック・サティが大好きで、他ジャンルのアーティストたちと共同作業をして公演を作っていたのですがまったく興味を失い、なぜか幼いころに歌っていた童謡やわらべうたしか口から出てきませんでした。商店街などで童謡を歌い始めると皆が足をとめ座り込み、大合唱になりました。童謡が必要なのは私だけじゃなかったのです。

誰かと気持ちを共有し、誰かに支えられ、誰かに見守ら

# 39期ピアノ 佐藤 裕美子

早いもので、卒業してから 20 年近い年月が経とうとしています。これまで、運にも恵まれて、後進の指導と演奏の活動を続けて来られました。その間、幾度となく「京都芸大出身」というご縁に助けられてきました。

十数年、講師として勤めてきた兵庫県立西宮高等学校音楽科に、現在は教諭として勤務しており、ピアノ実技、アンサンブルやソルフェージュの指導に携わっています。通称"県西"と呼ばれるこの学校は、私のもう一つの母校でもあります。この職場にも、京都芸大の先輩方や同期が勤務されており、いつも、近い存在に「同窓生」という心の支えをいただいていて、本当にありがたく感じています。

そして、毎年教え子たちのうち数人は、京都芸大へと進学していきます。ふと自らをふり返ると、昨日のことにも思える学生時代。小規模な大学だからこそ成し得る密度の濃い授業やレッスン。良き相談相手でもあり、良きライバルでもあった友人達と切磋琢磨した4年間。これから高

そんな周りの方々に支えられながら、現在も日本の歌を 中心に演奏を続けています。歌の他、池袋にある東京芸術 劇場コンサートホール等での案内係や、童謡を歌う会の指 導などをやっています。

数年の間、母の介護で頻繁に京都に帰っていましたが、 2年半前に母が急逝し、帰省する機会の減っているこの頃です。

しかし、今年9月22日、久しぶりに京都国際交流会館での演奏会に出演します。また、10月12日、東京・津田ホールでも歌うことが決まっています。自分らしく自分のペースで、歌い続けられるように頑張りたいと思います!

皆様とお目にかかれる日を楽しみに・・・お元気でお過 ごし下さい。

れていると感じた経験を持つ神戸に住んでいる私たち。声を合わせると少しでも元気が出たことを思い出して、私にできることは、ちょっとポップにアレンジして誰しもが声を合わせて歌える歌を歌ってまわることだと思い、NPO法人童謡サロンを立ち上げました。

子どもからおじいちゃんおばあちゃんまで世代を越えて歌える童謡は、自然の恵みや当たり前の情景の素晴らしさを歌っています。ふだん童謡は心の奥に閉まっておいていいけど、サバイバルな時にみんながふっと自然に童謡がでてくるようになればいいなと思って活動しています。くちびるにうたを!

http://doyo-salon.net



校を巣立っていく学生達も同じように経験していくのだな と思うと、感慨深いものがあります。

今年も、6月に行われるピアノフェスティバルには、県西卒業生のピアノ・デュオが出演すると聞いています。一卒業生としても、若い世代の活躍を耳にするのは、本当に嬉しい限りです。それと同時に、いよいよ応援をしていく世代になったのだなとも感じます。これから音楽家を目指す若い世代には、ますます厳しい時代を迎えているかもしれません。しかし、十数年前よりもネットワークは広がり、強くなっているようにも感じます。そこには、もしかしたら大きなパワーが秘められているのかもしれません。これからの時代の"音楽"には、何が必要とされるのか。不変と創造の共存。すぐに答えの出ない愚問かもしれませんが、自らに問いかけながら、若い世代への一助となれるよう、歩んでいけたらと思います。

# 真声会 各支部活動報告

### 京都支部

京都支部活動も順調に進めてまいりましたが、正に晴天の霹靂!昨年度より副支部長としてお迎えしました青谷哲也氏 (15 期声) が体調不良の為、過日突然の辞任!全く思いがけない出来事に驚くばかりで途方にくれていますが、健康あってこその人生・・・。1日も早いご回復を願い、辞任を受け入れざるを得ない状況になりました。またその上、庶務として長年ご尽力くださいました早田彩子 (18 期 P ) さんも、やむを得ない事情により5月の総会を機に途中辞任・・・という思いがけない事が続きました。大変残念な事ですが、一部役員間の担当を交代して、この難局を乗り越えていこうと、更に役員同士の結束を強めています。従いまして、今日まで企画で活躍して頂いています脇坂幸江 (24 期 Hr) さんに副支部長と企画を兼務してもらい、支部長自身も庶務の仕事をサポートしながら、広報の大須賀留美子 (13 期声) さんに庶務を引き継いで頂く事になりました。

京都支部は役員同士本当に仲良く、和気藹々とした雰囲気の中で楽しく活動しています。2年後の役員改正には、是非新しい仲間が増える事を心から願っています。

5月19日には第24回総会を開催し、昨年に引き続いて蔵田裕行先生に「私の音楽遍歴」と題して貴重なお話を頂き、その後懇親会に移り、毎回のごとく、和やかに食事をしながら楽しく歓談をしました。

7月中旬には京都支部報第29号を発行し、会員相互の情報交換を更に深めたいと思います。また9月15日(日)には、午後2時から府民ホールアルティに於きまして、第30回記念プロムナード・コンサートを開催します。今回は特に第30回という記念のコンサートでもありますので、是非皆様のご来場をお待ち致しています。

支部長 山田晏子(10期声)

# 滋賀支部

まずは支部新会員の御紹介です。

今年度は、菱谷祐衣さん(ピアノ)、松崎絵美さん(声楽)、田村友里恵さん(ヴァイオリン)、松本彩さん(クラリネット)の4名の方に御入会いただきました。今後の御活躍、祈念しております。

■ さて、芸大音楽学部設置60年を昨年迎えましたが、滋賀県では石山高校音楽科が設置45年を迎えまし ■ た。1期生の方、還暦おめでとうございます。

京芸との関係では歴史的にどうしても「堀音」がクローズアップされますが、石山高校も1期生の方は京芸に5名進まれ、卒業後は滋賀の音楽教育に尽力されました。1期生に続く卒業生の皆さんも県内にとどましず、教育や音楽の現場で多数活躍され、実績をあげていただいています。

■ 現在の少子化、芸術文化軽視の流れの中で、バランスの取れた豊かな人間形成に重要な意味を持つ音楽に対し、後世につながる教育や音楽活動を担う若者を育てる作業はこれからも必要です。石山高校にはこれか ■ らも頑張っていただきたいし、一人でも多く京芸で学んで欲しいと思っています。

▼ 支部の活動も25年となりました。ということで、秋の支部演奏会「湖のしらべ」は記念演奏会として、ヴェルディ生誕200年にも引っ掛け、面白いステージを企画中です。是非お楽しみに。支部の方、支部にゆか 
■ りのある方、ふるって参加下さい。

「湖のしらべ」 1 1 月 2 4 日 (日) 14:00 開演 しがぎんホール (大津市浜大津)

13年度支部総会:5月19日(日)18:00 イージーオール(大津市石山寺)

支部長 杉中 博(19期Tp)

## • 関東支部

平成25年4月23日(火)水道橋「庭のホテル」グリル&バー"流"にて、第18回総会及び懇親会が
 ・開催されました。出席者は新しく入会してくださった方々をお迎えして17名(委任状36通)・・・会員数
 ・91名の関東支部としてはいつになく盛会です。隠れ家のような静かなたたずまいの中で、支部活動の今と
 これからについて話し合いました。特に、定期演奏会のあり方について、提案と問題提起がなされ、一年を
 かけて丁寧に検討することとなりました。再来年は20周年!記念の年をどう迎えるか、様々なアイディア
 ・が寄せられています。

5月12日には、会報 Harmony 第17号が発行されました。会員の声として、昨年入会とともにて定演初
 出演してくださった蒲原尚美さん(36 期声楽)に、関東支部の活動の感想や「進化し続けたい」という思
 いを綴っていただきました。また、同じく昨年定演にご出演の加瀬照美さん(23 期 Vn)には、「ヘリー・
 ビンダー先生と夏の思い出」と題して、ドイツ・ユーゲンハイムお庭の美しいお屋敷で受けたレッスンの様。
 子を投稿していただきましたが、くしくもこれは、2月に亡くなられたビンダー先生への追悼文ということ・
 になってしまいました。心より、ご冥福をお祈りしたいと思います。

「この人にきく!」のインタビューコーナーでは、ショパンコンクール入賞者である三木香代さん(27期) ピアノ)に登場していただき、多くの体験談と、家庭と音楽活動の両立のおはなしなど聞かせていただきました。5月31日(金)・日本ショパン協会主催の三木さんのリサイタルには会員が誘い合って出かけることになりました。

• 6月29日(土)には例年のように同窓生によるユニット・ピアノアンサンブル doux のコンサートが日比谷・
• 松尾ホールにて開催されます。また、8月25日(土)には昨年よりご夫婦で入会いただいた小松久美さん(27 ■ 期ピアノ・高崎在住)の計らいで、ピアノアンサンブル doux 高崎公演が実現します。関東支部定期演奏会 ■ は11月4日(月・祝)にかつしかシンフォニーヒルズ・アイリスホールにて開催予定です。

副支部長 曽我尚江(27 期 Pf) ●

#### 大阪支部 http://senri-music.com/shinseikai-osaka/

#### コンサートと講演と総会、そして10回記念「ブリリアント・コンサート」

今年度の総会は、コンサートと総会をドッキングして、6月30日(日)モーツアルト・サロン(地下鉄「南森町」から徒歩5分)で、まず、1時30分から「サロン・コンサート2013」を開きます。出演は、入谷幸子さん(51期)と鳫真佑子さん(56期)のピアノのお二人が、ラヴェルの「鏡」から、などを、中島慈子さん(10期)・ピアノ・大富栄里子さん(28期)が、日本の歌を聴かせてくださいます。続いて、会長・大阪支部長の大村さんが、記念講演「戦後の音楽教育界に位置した京都芸大音楽学部の60年」(仮題)として、お話をしてくださいます。以上は、ワンコイン・500円で、一般公開とします。

場所を移して、向かいの喫茶店「珈琲苑」で、お茶とケーキ・サンドイッチを囲みながら、今終わったコンサートの出演者を囲んで、感想を述べ合いながら出席者同志の親睦を深めます。もちろん総会ですから、議事として、一年の経過、会計、監査の報告、事業計画など話し合います。

もう一つ、大阪支部では、「プロムナード・コンサート」として、ナマの音楽を広める運動を各地で38回行い、それをベースにして中央でのコンサートを、ときに「ブリリアント・コンサート」と名づけて、これまで9回行ってきましたが、このたび第10回を記念して、9月29日(日)午後1時30分開演、いずみホールにて、記念のコンサートを開きます。出演予定者(敬称略)は、ピアノソロが、樋上眞生(51期)と岩井理沙(53期)、ピアノデュオが、蜂谷葉子・大岡真紀子(いずれも29期)、歌が、中林節子(12期)・柴田千恵子(18期)・森池日佐子(18期)、ピアノ大富栄里子(28期)、トリオで、平井好子(25期ob)・蒲生絢子(49期hn)・名畑ゆかり(23期 pf)、クインテットで、木村直子(25期 vn)・山口規子(30期 vn)・小崎恵理子(30期 va)・清水潔子(30期 vc)・佐々由佳里(30期 pf)の皆さんで、盛り沢山のプログラムが検討されています。

支部へのお問い合わせ・入会は、大阪支部事務局へ。

545-0004 大阪市阿倍野区文の里 4 の 12 の 25 樋口博行方 TEL&FAX 0 6 - 6 6 2 4 - 3 4 2 5 まで。

副支部長·広報担当 金森重裕(6 期 cl)

 (16)第56号
 真声会会報(3500 部発行)
 2013年6月5日発行 (17)

## 奈良支部

前回の会報の報告より、第 15 回の定期演奏会に向けての準備に支部役員全精力を向けてかかっております。今回親と子で楽しむコンサートということで、いろいろと紆余曲折ありましたが、多くの客演の参加もあり、目下関係者一同、コンサートの成功に向け心を一つにして頑張っております。どうか多数の皆様、特にお子様連れでのご来場お待ちしております。

# 2013 年 8 月 8 日木曜日 14 時~ 真声会奈良支部第 15 回定期演奏会なら de クラシック ♪ 夏休み!!おやこで楽しむ!コンサート♬

プログラム バッハ:G線上のアリア、モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク、パッフェルベル:カノン、映画「サウンドオブミュージック」からドレミの歌、エーデルワイスほか、ヨハン・シュトラウス:美しく青きドナウ 他

出演 ヴァイオリン: 竹吉さやか・小山佳子 ヴィオラ: 西薗真理 チェロ: 半田ひろ美

オーボエ:岩本美穂子 うた:岩渕葵・花房英里子・豊住征子・菊田義典 ピアノ:岩谷寿美子 他

場所 秋篠音楽堂(近鉄西大寺駅下車3分、ならファミリー6F)

入場料 大人 1500 円、子供 800 円、0 歳から入場可能でございます。

あと、近日中(5 月中)に奈良支部報 NARA 通信第 66 号発行、支部総会を 6 月 15 日開催いたします。 (現在時間等調整中でして、本部会報発送される頃には関係者には連絡が行っている頃です。)

もしご興味等ございましたら、真声会奈良支部事務局 E-mail shinseikai\_nara\_shibu\_info@yahoo.co.jp までお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

支部長 菊田義典(42期声)

# 中部支部

5月19日の第4回支部総会を迎えるにあたり、2012年度版真声会会名簿の発行は、当支部にとりまして大変重要な位置づけとなりました。編集に携わられ、ご尽力下さいました役員の皆様には心より感謝申し上げます。

お陰様で徐々に支部の存在も浸透してきたように思います。支部後援の演奏会として 2012 年度は、 3/18 大阪イシハラホールにて 48 期池村明子さんがヴィオラリサイタルを、2013 年度は、9/12 愛知県刈谷市で 52 期森由紀子さん(ドイツ留学中)、53 期坂井佑理子さんがジョイントコンサートを開催される予定です。30 期森本千絵(Vn)さんの 6/1 名古屋市電気文化会館にて「朝のクラシックサロン」(10:45 開演)も定着してまいりました。また演奏活動だけでなく、有志が集って「ミニ同窓会」と称して情報交換する機会ができるようにもなりました。このような動きをふまえ、5/19 の第 4 回総会では、恒例企画であった「ミニコンサート」を一旦お休みして「今後の支部のあり方について」をテーマにフリートーキングを行います。 卒業後の活動の現状、支部主催の演奏会の方向性、音楽教育の諸問題等、検討事項は尽きませんが皆様の日頃の思いと合わせて、支部の役割などを話し合うことができたらと思っています。

次号 8/1 発行の中部支部会報 NewsLetter 第 7 号は、これら話題満載でお届けしたいと考えています。

支部長 中島百合子(19 期作)

# 岡山支部

平成5年、8年、11年と連続で京都市交響楽団が津山国際総合音楽祭に出演し、その際、京都市響による地域コンサート(音楽のプレゼント)として県北の中小学校で演奏会があり、京都芸大出身で管楽器のトランペット若林義人、ホルンの村上哲、トロンボーンの井谷昭彦の皆さん、弦楽器のヴァイオリンの井上武明、立石多康子、後藤良平、ヴィオラのクリストあずさ、チェロの古川真差男、望月稔子の皆さんの演奏に、大変な感銘を受けたようです。津山市教育委員会からも京芸出身の皆さんの演奏は素晴らしいと絶賛すると共に、定期的に、1年に1回程度、音楽のプレゼントとして真声会岡山支部に出演打診が有るのですが、県南出身の全員に仕事を休んで出演してほしいとお願いするのも心苦しく、県北在住のくらしき作陽大学出身者と共にポピュラーな曲でお茶を濁しているのが現状です。今後は一人でも多くの真声会岡山支部の会員が増えてくれるのを願うと共に、県南の若い人を中心に岡山支部にとらわれず、例えば中国支部もしくは四国支部を目指して頑張って頂きたいと思っています。

支部長 下山忠良(3期打)

# 《京芸だより》

# ~定期演奏会を聴きにいらしてください~

京芸音楽学部への真声会の皆様方のご協力に心から感謝申し上げます。

今回は、ブラームスが 20 年余りを費やし作曲した「交響曲第 1 番」に加えて、華やかなワーグナーの楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」を演奏します。その他、各専攻最優秀者で実施する「定期演奏会ソリストオーディション」にて選出されたソリスト曲、サン=サーンスの「ピアノ協奏曲第 2 番」や、プレトーク&プレコンサート開催と、盛り沢山の演奏会となっております。皆様、是非ご来聴ください。

皆様のさらなる応援をどうかよろしくお願いいたします。

音楽学部長 山本毅

# 京都市立芸術大学第 143 回定期演奏会

日時:平成25年7月7日(日)午後2時開演(午後1時開場)

午後1時15分からホワイエにてプレトーク&プレコンサートを開催

会場:京都コンサートホール・大ホール

曲目: R. ワーグナー: 「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕への前奏曲

C. サン=サーンス:ピアノ協奏曲 第2番ト短調 Op.22

J. ブラームス:交響曲第1番ハ短調 Op.68

指揮:增井信貴(本学教授)

独奏:ピアノ専攻4回生 藤村志帆

演奏:京都市立芸術大学管弦楽

入場料:1200円(全席自由)※真声会会員は会員証提示により無料 お問い合わせ:京芸教務学生支援室(事業推進担当)075-334-2204 チケット発売:京都コンサートホール(075-711-3090)5月10日から発売

# 真声会会員の皆様は**会員証の提示**により無料でご入場いただけます。

会場受付にて卒業・終了期、専攻、お名前をお知らせ下さい。また、会報に印刷されている真声会会 員券をご利用下さい。この会員券は、会員様ご家族、友人知人のご利用が可能です。皆様のご来場を 心よりお待ちいたしております。 ※会員券チケットは、21 ページにございます。 

# 上山春平 元学長を偲んで



上山春平先生が、昨年の8月3日にお亡くなりになりました。お年は91歳でした。今から約20年前の平成4年(1992)から平成10年(1998)まで、わが母校、京都市立芸術大学で学長を学長をなさっておられました。

前任者の河野健二学長が、芸術活動を活発にするための芸術振興基資金設立などにご尽力され、社会貢献への窓口拡大をされた後を受け継いで、次の学長在任期間に、上山春平学長が大学会館竣工、ブレーメン芸術大学のとの交流協定締結を行い、日本伝統音楽研究センターや音楽研究科(博士後期課程)設置準備を進められました。

太平洋戦争下で人間魚雷回天に搭乗、九死に一生を得て、プラグマティズムから日本の国家論「神々の体系」や「天皇制の深層」などを説かれた雄大な哲学者でもありました。

私も何度かお会いしているのですが、お人柄がとても温厚な方のため、強烈な印象は持ち得ませんでした。 しかし、それだけに、京都芸大にとって深みのある大切な業績を残された方でした。惜しい先生を亡くしました。 真声会からも、心よりのお悔やみを申し上げます。

真声会会長 大村益雄(1期・作曲)

# ビンダー先生の死を悼む

昨年の夏の想い出です。

ビンダー先生と言えば18期~33期くらいの方々は懐かしく思い出して下さるのではないしょうか?京芸のヴァイオリンの講師として在籍されていたヘリー・ビンダー(Helly Binder)女史の事です。話の発端は、一昨年に遡ります。90歳になられたビンダー先生から、門下生全体のお世話をして下さっている先輩の元へ「来年、私のドイツの家でビンダー音楽週間のようなものをやりましょう。皆さんそれぞれ曲を選んで練習していらっしゃい。ソロでも室内楽でもいいですよ。私はまだ教えたい事がたくさんあります!」とのお達しがありました。そのお達しは、先輩から全国にいる門下生の元へ配信されました。そして昨年(2012)の8月11日~26日、ドイツのフランクフルトからタクシーで30分ほどのユーゲンハイムという街にあるビンダー先生のお宅で、門下生や一度先生のレッスンを受けてみたかった人達、総勢15名が少しずつ日程をずらしながらレッスンを受ける「ミニ音楽祭」が実現しました。

私は同学年30期の仲間4人(ヴァイオリン山口規子、ヴィオラは私、チェロ清水潔子、ピアノ佐々由佳里)で相談し、1曲は自分達でモーツァルトのピアノ四重奏の第2番を、もう1曲は先生にも入って頂いてドヴォルザークのピアノ五重奏イ長調をやろうという事になりました。九州に住むチェロの清水さんが、3月と出発前の8月の2回、大阪まで練習に来てくれました。





8月21日、私達30期チームは、ユーゲンハイムの先生のお宅に集合、さっそく練習が始まりました。まず91歳のビンダー先生がお元気でお変わりないのにビックリ!!ご自身では、「足が少し弱っている」とおっ

しゃっていましたが、見た目には 3 0 年ほど前の私達が学生だった頃のそのままの先生です。練習の合間には、お屋敷の中や広いお庭を案内して下さいました。公園のように広い庭には樹齢 1 0 0 年を超える大木が枝を伸ばし、バラ、むくげ、りんごをはじめ、見たこともない珍しい植物まで、そこにはいろんな草木がありました。家の中には古いグランドピアノ、チェンバロから数々のアンティークと言える古い調度品や食器、家具などがいっぱい。お宅そのものが博物館のようでした。興味深くお屋敷の中を探険していると、地下のお部屋に卓球台を発見!ラケットやボールも置いてあり、誰からともなく卓球が始まりました。次々に私も私も…という事になり、皆でピンポンゲームを楽しんでいる時、ビンダー先生も来られ参戦して下さいました。まさかドイツで 9 1 歳の先生と卓球ができるなんて、いやはや先生、恐れ入りました。

練習が進むにつれ、日本で音楽を日常の仕事としてこなし、こうなってはいけないと知りつつも疲れ果てていた私達の演奏が変化し始めました。譜面に書いてある音をひくだけではなく、音楽に対して自らが感じた思いを演奏にのせて表現して、仲間が発信してくれた音楽を感性でキャッチして、自分も音楽的表現として跳ね返す。話し合い、提案し合い、ジョークも交えて個性も響きあう。時にはモーツァルトやドヴォルザークの言いたかった事に思いを馳せ、普段忘れかけている音楽の原点のようなものを少しずつ思い出す…。そうだ、我々はこんな風に音楽の素晴らしさを感じ、これがやりたくて京芸に入り、今の自分達がある!91歳にしてまだまだ現役の音楽家として私達を導いて下さるビンダー先生とのアンサンブルで、失われつつあった音楽への切なる想いが、息を吹き返してくるのでした。3日間、練習の時間だけでなく、休憩のティータイムや食事の時間をも共に過ごし、4日目に予期しなかった本番(コンサート)をさせて頂きました。本番なんて聞いておらず、準備不足のまま突入したハプニング満載、スリル満点のコンサートでしたが、とても貴重な体験となりました。来館されたお客様、裏方のスタッフとしてお手伝い下さった先生のご友人の方々、そして何よりこのチャンスを作って下さったビンダー先生に大きな感謝を捧げます。翌25日に私達は先生のお宅をあとにしました。夢のような5日間、「先生、いつまでもお元気で!!楽しかった!! ありがとうございました。」

と、この報告をまとめた直後に、先の先輩から「ビンダー先生が亡くなられた!」という知らせを受け、唖然としました。あんなにお元気だったのに…と信じられない気持ちです。昨年、ドイツに行けて、お会いできて、最後のレッスンを受けられたのは幸せでした。あおげば尊し、わが師の恩。

もう一度、ビンダー先生、ありがとうございました!

2013年2月21日(日本時間)没、92歳。

小﨑恵理子(30期・ヴァイオリン)記



# 真声会からのお知らせ



## 真声会のホームページを是非ご覧下さい!

ホームページが充実してまいりました。 教員・ 演奏者等の募集情報や、後援演奏会情報を随時更 新しております。また、過去の会報も見ることも できます。

どんどんアクセスして下さい。

http://www.shinseikai-kcua.net/

### 同窓会事務室は月曜日に稼働しています!

音楽学部同窓会事務室は現在、月曜日、午前 10 時から午後 3 時まで稼働しています。 美術学部と同室で、美術学部・音楽学部同窓会事 務室として同窓会業務を行っております。皆様、 ぜひお気軽に専用電話番号にご連絡下さい。本部 役員または担当者がお問合せに直接お答えしま す。

#### 開室日:毎週月曜日(10:00~15:00)

※年末年始、お盆、祝日及び学内立ち入り禁止期間(入試等)は休室します。

### 電話番号 080-6185-4494

開室時間外にお電話を頂いた場合、留守番電話に お名前とご連絡先を録音して頂ければ、同窓会事 務室よりご連絡いたします。

# 真声会会員のコンクール等受賞者

#### 第 10 回東京音楽コンクール

(平成24年8月31日 東京文化会館大ホール)

#### 金管部門 第2位(1位なし)

大学院修士課程 器楽専攻 (トロンボーン)1 回生 滝田 姫子

#### 第7回安川加壽子記念コンクール

(平成24年8月3日 保谷こもれびホール・メインホール(西東京市)) 第3位

平成24年3月修士課程(ピアノ)修了 宮崎 真理子

#### 第4回東京国際声楽コンクール

(平成24年9月22日 イタリア文化会館アニェッリホール)

#### 大学生部門 第4位

学部 声楽専攻3回生 伊藤 黎

#### 第 13 回大阪国際音楽コンクール

(平成24年10月5日 神戸朝日ホール)

#### 2台ピアノ部門 第2位 (1位なし)

学部 平成18年3月学部卒業 ピアノ専攻 高野 良輔 ※ペア: KIM Yaehan (韓国)

#### 第 66 回全日本学生音楽コンクール 東京大会 本選

(平成24年10月22日 サントリーホール ブルーローズ) チェロ部門 大学の部第1位 (チェロ部門は東京大会のみ開催) 学部 弦楽専攻 1 回生 櫃本 瑠音

#### 第 18 回フッペル鳥栖ピアノコンクール 2012

(平成24年10月8日 鳥栖市民文化会館)

大学院博士(後期)課程2回生 東山 洸雅

#### 第8回かやぶき音楽堂デュオコンクール

(平成24年11月4日 かやぶき音楽堂(京都府南丹市))

## 1台4手連弾部門 第1位

大学院音楽研究科博士(後期)課程2回生金田 仁美 学部 2007 年ピアノ専攻卒業 河内 仁志

## 第27回摂津音楽祭リトルカメリアコンクール

(平成24年11月23日 摂津市民文化ホール)

#### 銀賞及び聴衆審査賞

第3位

学部 弦楽専攻 (ヴァイオリン)4 回生 丸山 韶

#### 第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会

(平成24年12月5日 かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール) 第3位(1,2位なし)

学部 弦楽専攻 (チェロ) 3回生 西本 慶子

#### 第22回日本クラシック音楽コンクール全国大会

(平成24年12月10日 吹田市文化会館 中ホール)

# 第3位(打楽器部門 大学女子の部)

学部 管打楽専攻(打楽器)4回生 岡村 彩実

#### 第 18 回 KOBE 国際音楽コンクール

(平成25年1月12日 神戸市産業振興センター(ハーバーホール))

#### 最優秀賞・兵庫県教育委員会賞

学部 平成22年3月 ピアノ専攻中退 樋上 愛加

#### 第 18 回 KOBE 国際音楽コンクール

(平成25年1月12日 神戸市産業振興センター(ハーバーホール))

#### 優秀賞・神戸新聞社賞

学部 ピアノ専攻 4回生 吉田 成美

#### 横浜国際音楽コンクール

(平成24年8月23日 みなとみらいホール)

### 大学の部 第1位

学部 弦楽専攻 (ヴァイオリン)2 回生 堀江 恵太

#### 神戸芸術センター記念ピアノコンクール

(平成24年5月12日 神戸芸術センター 芸術劇場)

#### 銀賞 感動賞

学部 ピアノ専攻4回生 山下 諒

#### 横浜国際音楽コンクール

(平成24年8月24日 みなとみらいホール)

#### 大学の部 第3位

学部 ピアノ専攻4回生 山下 諒

#### 第22回日本クラシック音楽コンクール

(平成24年12月7日 かつしかシンフォニーヒルズ モーツアルトホール)

#### 優秀賞 第4位(1位,3位なし)

学部 2007年3月 声楽専攻 卒業 高橋 純

#### 京都市芸術文化特別奨励制度

平成 25 年度 音楽部門 特別奨励者として認定

#### グループ名 JCMR KYOTO

大学院博士課程 作曲・指揮領域(作曲)2009年3月修了 清水慶彦 大学院博士課程 音楽学領域 (作曲)5回生 竹内直 大学院博士課程 作曲·指揮領域(作曲)4回生 増田真結

#### 2012 年音楽クリティック・クラブ賞

奨励賞 清水徹太郎(47期・声楽)

#### 平成 24 年度 兵庫県芸術奨励賞

菊本和昭(48 期・Tp)

### 平成 24 年度 関西元気文化圏賞 10 周年記念特別賞 佐渡裕 (29 期・fl、指揮)



#### ♪大江浩志・岩崎宇紀 デュオコンサート

日時: 2012年11月17日(土)15:00 会場:ムラマツリサイタルホール 新大阪

出演:大江浩志 (27 期 FI)、岩崎宇紀 (27 期 Pf)

曲目:新実徳英:魂の鳥、メシアン:「鳥のスケッチ」より、他

#### ♪ Unmarked Singers クリスマスコンサート '12

日時: 2012年12月23日(日)16:30

会場:島之内教会

出演:奥田聖子 (48 期 Vo)、丸山晃子 (51 期 Vo)、乃村八千代 (院 22 期 Vo)、藤原さおり (46 期 Vo)、坂本晃一 (55 期 Vo)、

樋口卓哉 (55 期 Vo)、藤野豊 (52 期 Vo)、他

曲目:R.トンプソン:アレルヤ、J.ブスト:アヴェマリア、ク

リスマス曲、他

#### ♪アフター・アワーズ・セッション《色とりどりの小品》

日時: 2012年12月25日(火) 19:00 会場:ドルチェ・アーティスト・サロン

出演:右近恭子(25 期 Pf)、日野俊介(29 期 Vc)、松原央期(29

期 Cl)、他

曲目:サン=サーンス:デンマークとロシアの歌によるカプリス、 ドリング:フルート・オーボエ・ピアノのためのトリオ、他

#### ♪親子で歌いつごう日本の歌~冬に巻~

日時: 2013年2月10日(日)14:00

会場:ガレリアかめおか響ホール

出演:片山映子 (27 期 Vo)、美馬美紀 (30 期 Vo)、橋本尚 (35 期 Pf)、他 曲目:「親子で歌いつごう日本の歌」より冬の歌中心に約20曲、他

#### ♪後藤真利子ピアノリサイタル 東欧からパリヘ リストとショパン

日時:2013年2月14日(木)19:00

会場:京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

出演:後藤真利子(53 期 Pf)

曲目:ショパン=リスト:6つのポーランドの歌より第5曲「私 のいとしい人」、F. リスト: 詩的で宗教的な調べ より第7曲「葬

送、1849年10月」、他

#### → An Evening of art Songs

日時: 2013年2月21日(木) 19:00

会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

切

取

ŋ

線

出演:藤 美千代(43期Vo)

曲目: 0. メシアン: 「ミのための詩」より、他

## ♪田村幸造ピアノリサイタル

日時:2013年2月24日(日)14:00

会場:箕面市立メイプルホール

出演:田村幸造 (36 期 Pf)

曲目:ショパン:即興曲第1番変イ長調 op.29、フランク:前

奏曲・コラールとフーガ、他

#### ♪日本演奏連盟リサイタルシリーズ 東山洸雅ピアノ・リサイタル

日時:2013年2月28日(木)19:00

会場:京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

出演:東山洸雅 (53 期 Pf)

曲目: J.S バッハ: イタリア協奏曲、L.V ベートーヴェン: ピ アノソナタ第32番ハ短調 op.111、R. シューマン:交響的練 習曲 op.13、他

#### ♪サウンドプリズム 船橋美穂ピアノアンサンブルシリーズvol.11

日時:2013年3月2日(土)14:00

会場:京都府立 府民ホール「アルティ」

出演:船橋美穂(25 期 Pf)、林田明子(37 期 Vo)、南條聖子(45 期 Vn)、他 曲目:フォーレ:ピアノ五重奏曲第2番ハ短調 op.115、ドビ

ュッシー:ヴァイオリンソナタ、他

## ♪蔀 幾世子・水野雅子 ジョイントリサイタル

日時:2013年3月19日(祝・火)19:00

会場:兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演: 蔀 幾世子(30 期 Pf)、水野雅子(26 期 Pf)

曲目:N.メトネル:おとぎ話 Op.20-1,Op.51-1、S. プロコフィ

エフ:トッカータ Op.11、他

#### ♪戸川晃子&次郎九智希ピアノデュオコンサート

日時:2013年3月20日(水)15:00

会場:兵庫県立美術館 マトリエ1

出演:戸川晃子(44期Pf)、次郎九智希

曲目:ドビュシー:喜びの島、モーツァルト:アンダンテと変 奏、シューベルト:ロンド、次郎九智希:Museum(新作初演)

#### ♪『夢を求めて、愛を求めて。。。』田中修二・右近恭子ピアノ・デュオ

日時: 2013年3月30日(土) 16:00

会場:大阪倶楽部 4 階ホール

出演:田中修二(24期Pf)、右近恭子(25期Pf)

曲目:モーツァルト/ツェムリンスキー編曲:『魔笛』序曲、

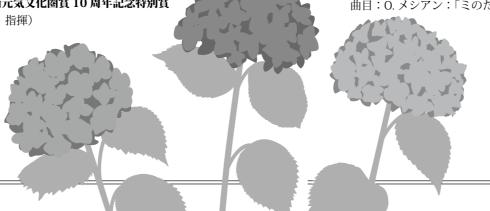
メンデルスゾーン:『真夏の夜の夢』より、他

----- 切り取り線 ------

# 京都市立芸術大学音楽学部 第143回定期演奏会

音楽学部同窓会真声会 会員券 (会員以外の方も、ご利用可能です)

2013年7月7日(日) 14時開演 13時開場 京都コンサートホール大ホール



(22)第56号 真声会会報(3500部発行) 真声会会報(3500部発行) 2013年6月5日発行 (23)

### ♪川田理絵帰国記念ピアノリサイタル

日時: 2013年3月30日(土) 19:00

会場:秋篠音楽堂

出演:川田理絵(51期Pf)

曲目:ショパン:24 の前奏曲作品 28、シューマン:アラベス

ク作品 18、管弦楽のない協奏曲作品 14

#### ♪ヴァイオリン&ピアノ デュオコンサート

日時:2013年3月31日(日)14:00

会場:音楽空間 ネイブ

出演:鈴木愛子(44期Pf)、他

曲目:モーツァルト:ヴァイオリンソナタ ニ長調 K.306、シ ューマン:ウィーン謝肉祭の道化 op.26 より間奏曲、フィナ

ーレ、パガニーニ:魔女たちの踊り op.8、他

#### ♪大石和子ピアノリサイタル

日時: 2013年4月4日(木) 14:00

会場:カワイ表参道コンサートサロン「パウゼ」

出演:大石和子(22期Pf)

曲目:シューマン:アラベスク・アベッグ変奏曲・三つのロマ ンス、リスト:愛の夢・ため息・パガニーニによる大練習曲第

6番、ドビュッシー:ピアノのために

### ♪大阪室内合奏団 第一回定期演奏会 デビューコンサート

日時:2013年4月14日(日)16:00

会場:川□基督教会

出演: 石田知子(47 期 Vn)、江口純子(54 期 Vn)、溝渕そよか(49 期 Vn)、他

曲目:モーツァルト:ディヴェルティメント kv.137、ブリテン:

シンプルシンフォニー、他

## ♪コール真声会 第3回定期演奏会

期 Vo)、小谷美智子(15 期 Vo)

日時:2013年5月11日(土)14:00

会場:バロックザール

出演:小原裕之(56期 Vo)、田村直子(6期 Vn)、森田 煦 美子(7期作)、大幸 若菜(6期Pf)、杉山佳子(6期Pf)、 西垣淳子(8期Cl)、根来順子(9期Vn)、坂口佳子(7期 Vo)、齋藤眞理子(1期 Vo)、湯浅由貴子(11期 Vo)、室谷智 子 (10 期 Vo)、西村靖子 (8 期 Pf)、高畑園子 (33 期 Vo)、佐々 木百合子(18 期打)、鈴木美智子(9 期 Cl)、大須賀留美子(13

曲目: Gabriel Faure:REQUIEM,Cantique de Jean Recine op.11、 リチャード・ロジャース:サウンド オブ ミュージックより、

中田喜直:女性合唱曲集より 忘れた草、他

# ♪新進演奏家育成プロジェクトリサイタルシリーズ OSAKA9 浦前華名ピアノリサイタル

日時:2013年5月16日(木)19:00

会場:大阪いずみホール 出演:浦前華名 (44 期 Pf)

曲目:モーツァルト:グルッグの歌劇<メッカの巡礼>の< 愚かな民の思うは > による 10 の変奏曲、リスト:バラード第

2番、バルトーク:ピアノソナタ

#### ♪アフター・アワーズ・セッション Duo & Duo vol. V

日時: 2013年5月17日(金) 19:00

会場:弁天町オークホテル

出演:右近恭子(25 期 Pf)、ギオルギ・バブアゼ(講師 Vn) 曲目:モーツァルト:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ kv.378、ベートーヴェン:ピアノとヴァイオリンのためのソ ナタ op.12-3、他

## ♪小川友子ピアノ室内楽シリーズVI~ピアノ四重奏の午後~

日時:2013年5月26日(日)15:00

会場:イシハラホール

出演:小川友子(27期Pf)、他

曲目:モーツァルト:ピアノ四重奏曲第1番ト短調 KV478、 シューマン:アダージョとアレグロ変イ長調作品70、他

#### ♪江口純子ヴァイオリンデビューリサイタル

日時:2013年6月2日(日)15:00

会場:青山音楽記念館 バロックザール

出演:江口純子(54期 Vn)

曲目: R. シュトラウス: ヴァイオリンとピアノのためのソナ タ 変ホ長調 op.18、A. シェーンベルク: 幻想曲 op.47、他

#### ♪ザビエルの足跡 天正遣欧少年使節の聴いた音楽

日時:2013年6月2日(日)15:00

会場:ファミリアホール(神戸市中央区柏生町 1-21-1)

出演:緋国芳江(34 期 Vo)、栗木充代(34 期 Vo)、松田洋介 (45 期 Tb)、上野訓子、笠原雅仁、淡路広枝、緋田吉也

曲目: ジョスカン・デ・プレ: 千々の悲しみ、C. モラレス: 千々 の悲しみによるミサ曲、ナルバエス:皇帝の歌、他

#### ♪八橋検校顕彰コンサート

日時:2013年6月8日(土)16:00

会場: 金剛能楽堂

出演:津田佐代子(45期FI)、他

曲目:八橋検校:六段の調、J.S.Bach:フルートパルティータ



# **訃報** 謹んでお悔やみ申し上げます。

平成21年7月 15期声楽 廣瀬美津子さま 平成 25 年 2 月 25 期フルート 末原純子さま

### ♪ココロ、つなぐ歌 vol.3 柿原久美子ピアノリサイタル

日時:2013年6月23日(日)14:00

会場:かめおか 桂ホール

出演:柿原久美子(33 期 Pf)

曲目:バッハ:イタリア協奏曲、ベートーヴェン:ピアノソナタ

第31番 op.110 As-dur、リスト:リゴレット パラフレーズ、他

## ♪ウィリアム・プランクル&石井玲子 チェロとピアノのデュ オ・リサイタル~フランス音楽の響き~

日時: 2013年6月23日(日) 14:30

会場:京都府立府民ホールアルティ

出演:ウィリアム・プランクル (2008 年院博士課程取得 Vc)、

石井玲子(院7期Pf)

曲目:フォーレ:エレジー作品24、ドッビュッシー:チェロ とピアノのためのソナタ二短調、フランク:チェロとピアノの

ためのソナタイ長調

#### ♪ピアノアンサンブル doux Vol.7

日時:2013年6月29日(土)15:00

会場:スタインウェイ東京 松尾ホール <日比谷>

出演: 奥田章子 (32 期 Pf)、元木いずみ (32 期 Pf)、高橋知子

(32 期 Pf)、小屋聖子 (35 期 Pf)、高橋律子 (34 期 Pf)

曲目:モーツァルト:オペラ「魔笛」より序曲、ベートーヴェ ン:ピアノソナタ第13番op.27-1、シューマン:ピアノ協奏 曲 a-moll、ラフマニノフ:組曲第1番 op.5、サン・サーンス: 動物の謝肉祭

#### ♪高木知寿子ワルシャワピアノ五重奏団〜結成記念コンサート〜

日時:2013年7月2日(火)19:00

会場:仙川アヴェニュー・ホール

出演:高木知寿子(27期Pf)、ピオトル・ツェデエルスキー、 ダリウミュ・デガ、マレック・イヴマニスキー、ロバルト・プロフスキー

曲目:ガレプスキー:ピアノ五重奏曲 ト短調 作品34、ガ ーシュイン=平野義久:サマータイム変奏曲、カプースチン:

ピアノ五重奏曲 ハ長調 作品89

# ♪エンジョイスペシャルコンサート in 北山モノリス Vol.7 高木知寿子ワルシャワピアノ五重奏団コンサート&ディナー (演奏者と共に)

日時:2013年7月5日(金)19:00

会場:北山モノリス

出演:高木知寿子(27期Pf)、ピオトル・ツェデエルスキー、 ダリウミュ・デガ、マレック・イヴマニスキー、ロバルト・プロフスキー 曲目:ガレプスキー:ピアノ五重奏曲 ト短調 作品34、ガ ーシュイン=平野義久:サマータイム変奏曲、カプースチン: ピアノ五重奏曲 ハ長調 作品89、他

## 編集後記

# ♪ロマンチックコンサート ヴァイオリンの調べ ~ ホル ン、ピアノとともに

日時:2013年7月6日(土)14:30

会場:滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール

出演:尾崎未佳(35期Vn)、武田佳美(34期Pf)、木川博史(Hr) 曲目:ブラームス:ホルン三重奏曲、ヴァイオリンソナタ第1

番、シューマン:アダージョとアレグロ、他

#### ♪ Summer Concer ~アメリカからの風~

日時:2013年7月6日(土)18:00

会場:レスパス・エラン

出演:マッツェン真由美(49期 Pf)、谷口まり子(48 期 Pf)、

膳ルミ子(48期 Vn)、Max Matzen(Tp)

曲目:イウェーゼン:トランペット・ヴァイオリン・ピアノの為 のトリオ、フリードマン:トランペット無伴奏曲 "SOLUS"、他

#### ♪着物で楽しむコンサート和楽

日時:2013年7月7日(日)15:00

会場:京都ブライトンホテル 雲の間

出演:浅井佳代(37期Pf)、島根里香(37期FI)、白石優香(57期Vn) 曲目:モンティ:チャルダッシュ、リスト:愛の夢、ドップラ

ー:アメリカ小2重奏曲、他

#### ♪トリオ・ダンシュ・デ・コロン&谷千鶴

日時:2013年8月3日(日)18:00

会場:京都府民ホールアルティ

出演:水間博明 (27 期 Fg)、谷千鶴 (27 期 Pf)、他

曲目:プーランク:ピアノ、オーボエ、ファゴットのためのト リオ、グリューネヴァルト:ファンタジー・アラベスク、サン

=サーンス:組曲「動物の謝肉祭」、他

#### ♪ La porta del barocco ~バロックの扉~

日時:2013年8月3日(土)18:30

会場:京都文化博物館 別館ホール

出演:中嶋俊晴(55期 Vo)、丸山晃子(51期 Vo)、乃村ハ千 代(54期 Vo)、笠原雅仁(テオルボ)、澤朱里(チェンバロ) 曲目: C.Monteverdi: Zefiro torna 西風戻り、G.Caccini: Amarilli,mia bella アマリッリ、麗しの君よ、G.F.Handel: Quel fior cha albaride 夜 明けに微笑む、あの花は、他

#### ♪上田明美ピアノリサイタル ~ La Valse ~

日時:2013年9月1日(日)14:00

会場:びわ湖ホール 小ホール

出演:上田明美(44 期 Pf)

曲目:ブラームス:ワルツ 作品39(ピアノ独奏版)、ベート ーヴェン:ピアノソナタ第31番変イ長調作品110、ショパン: ワルツ嬰ハ短調作品 64-2、他

いつのまにか日中は汗ばむような季節となりました。皆様 GW はいかがでしたでしょうか?私は、ラ・フォル・ジュルネに行 ってきました。日本にいながらフランスやスペインの本場の音楽に触れる事ができ、とても素晴らしい休日となりました。間違 えて0歳からのコンサートのチケットを購入してしまい、気まずさのあまり胎教としてビールっ腹をさすりながら聴いたラムル 一管弦楽団は言うまでもなく素晴らしかったです。そして!!京芸の定期演奏会も素晴らしいですよ!!今年はブラームスです。 皆様のご来場を心よりお待ちしております。(S)

# 2013年度・真声会総会のお知らせ

真声会総会・懇親会を7月7日(日)、京都コンサートホールにて催される京都芸大、第143回定期演奏会当日、演奏会終了後、1階のレストランで開催致します。出欠の連絡、欠席される場合は委任状を、6月30日までに同封ハガキにて必ずご返送くださるようにお願い致します。詳細は、会報の本文、6ページを御覧下さい。

# 真声会

京都市立芸術大学音樂学部同窓会

Kyoto City University of Arts Alumni Association

#### 発行所

真声会 京都市立芸術大学音楽学部内 〒 610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13 番地の 6 TEL(075)334-2222 FAX(075)334-2345 同窓会事務局 TEL(080)6185-4494 e-mail: shinsei@kcua.ac.jp http://www.shinseikai-kcua.net/